

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2024 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		H-K01	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動 I			実技・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	60	2	森主 あゆみ		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
校外での集団行動も多く取り入れ、チームワークなど教室の授業では得られないコミュニケーション能力の向上ができるようになる。							
授 業 の 概 要							
保育分野への導入として、刈エンテーションをしっかり行い、九州短期大学での併修や専門科目への導入とする。 また、保育分野への興味関心を途切れないようにするために、「保育キャリア講座」を全 6 回に渡って開催する。 他に、学校行事として、入学式やスポーツフェスティバル・遠足、その他行事など、通常の教科の学習を越えた範囲のさまざまな学習活動を行う。 校外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が得られる。							
成 績 評 価 の 方 法							
各行事への学習意欲で評価する。保育キャリア講座については、授業終了後のレポート提出にて評価する。						課 題	50%
						学習意欲	50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
なし							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. 入学式			4				
2. 刈エンテーション			16				
3. 保育 welcome パーティー			4				
4. 近隣園との交流			8				
5. 保育キャリア講座①「OB・OG セミナー」			2				
6. 保育キャリア講座②「園長先生講話」			8				
7. 遠足（7 月）			2				
8. 防災訓練			8				
9. 遠足（11 月）			8				
10. スポーツフェスティバル							
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)			年 度		2024 年度
			科目コード		H-K06
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名		授業形態	学 科 ・ コー ス		
情報リテラシー I		演習	こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	吉村 香央里
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
タイピングの基礎として WP 検定を受験する。Word・Excel の簡単な基本操作ができるようになる。					
授 業 の 概 要					
パソコンの導入から操作方法と利用技術を実践的に学ぶ。効率的なタイピングの方法を練習し、WP 検定の対策を実施する。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題、学習意欲を総合的に評価する。				課 題	70%
				学習意欲	30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
・ワープロ検定対策テキスト 日本情報処理検定協会					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. パソコンのしくみを学ぼう	時間数			時間数	
Unit1 フォルダとファイルになれよう	2	3. 表計算ソフトの機能と操作を学ぼう		2	
■ドライブ名とフォルダの仕組み		■ Excel とは・基本操作			
■ファイルの仕組み		Unit4 作表と簡単な計算をしよう		2	
■フォルダの操作		Unit5 児童台帳を作成しよう		2	
■ファイルの操作		4. WP 検定対策		14	
2. ワープロソフトの機能と操作を学ぼう	2				
■ Word とは・基本操作					
Unit2 文書の構成	2				
■ テキスト, 表 (簡易表)					
■ 図形 (簡易図形, イラスト) 画像					
Unit3 簡単なお便りを作成しよう	4				
その他		関 連 科 目			
※单元ごと演習課題を実施する。		情報リテラシーⅡ・Ⅲ 情報処理入門Ⅰ 情報処理入門ⅠS			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2024 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				H-K09	
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
地域連携			講義・その他	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	吉村 香央里
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
近隣の施設・子育て支援センター・イベントなどを通じて、地域の保育関連施設への知識を深めるとともに、校内では学べない、子どもやその保護者、保育関係者とのコミュニケーションについて学ぶ。					
授 業 の 概 要					
近隣の施設・子育て支援センター・イベントなどでの見学・ボランティアを実施し、その学びを報告会として学生同士で情報共有する。					
成 績 評 価 の 方 法					
報告会（期末試験）と各活動の事前事後指導の報告書(課題)を評価の対象とする。 また、参加状況や授業態度を学習意欲として加味する。				期末試験	50%
				課 題	30%
				学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. るくる					時間数
・ ボランティア活動について			4		
・ 事前指導			2		
・ 研修会参加			8		
・ 課題制作			4		
・ ボランティア実施			8		
・ 報告会			4		
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K10
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
文章表現			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	榛葉 幸子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
・ 文字のもつ環境としての意味や保育者として正しく美しい文字を書くことの大切さを理解し、書き方や姿勢を身に着ける。 ・ 保育現場で必要な文章力を身に着ける。					
授 業 の 概 要					
・ 保育用語を中心に正しい文字の書き方や用語の意味を学ぶ。 ・ 保育現場での文章表現や敬語の使い方を実習日誌やお礼状、連絡帳等を通して学び、正しく美しい文字で書く。 ・ 文章の書き方やレポートの構成の仕方について学ぶ。					
成 績 評 価 の 方 法					
事前事後学習ならびに授業プリント等の課題内容と提出状況、授業への参加態度を総合的に評価する。					課 題 70% 授業態度 30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
これだけは知っておきたい わかる・書ける・使える保育の基本用語 (長嶋和代 編 わかば社) これだけは知っておきたい わかる・話せる・使える保育のマナーと言葉 (長嶋和代 編 わかば社) 自分でつくる BOOK&NOTE (安部孝 編著 同文書院)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			
1. オリエンテーション		2			
今後の学習の流れ					
2. レポートと作文の違い		4			
3. 保育における環境としての文字					
文字を書く際のポイント		4			
平仮名の字形					
4. 正しい言葉遣いと敬語		2			
5. お礼状の書き方		4			
6. 日誌の書き方		4			
7. 連絡帳とは		2			
8. 保育用語について		8			
その他			関連科目		
			制作演習 I		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K13
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
英会話 I			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	15	1	紅林 江身子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
近年、ネイティブ講師を交え簡単な英語表現を経験させる園などが増えつつある中で、そのことを念頭におきつつ、保育士の立ち位置や役割を踏まえ、保育士各々の英語力アップを図る。					
授 業 の 概 要					
コミュニケーションの必要性重要性を個々が再認識し、英語力をつけた際の可能性を考える。 中学レベルの英語文法の復習、フォニックスの学習。保育の為の基礎英語力をつける。					
成 績 評 価 の 方 法					
期末試験（文法、フレーズ、単語など）による評価。 学習意欲の評価として ・コミュニケーション能力での評価。 (日本語でも自分の意見や考えアイディアなどを出せる。他の生徒とシェアできる) ・英語でのコミュニケーション能力での評価。 (拙い英語でも、相手に伝えようとする姿勢や、聴こうとする力) ・授業態度や、英語学習への意欲や積極性への評価 を加味する					期末試験 60% 課 題 20% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
・ Happy English for childcare (KINSEIDO) ・ 中学3年分をたった7日で総復習 (学研プラス)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. 中学英語復習、フォニックス	時間数				時間数
	13				
	2				
・ 文の構成と語順 ・ 時制（現在形、進行形、過去形など） ・ 文の種類（肯定文、否定文、疑問文など） ・ 前置詞、接続詞など					
その他			関連科目		

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2024 年度
時間数は45分換算					科目コード	H-K14
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス	
健康科学			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	15	1	実務経験のある教員	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
・ 自己の健康づくり及び幼児から高齢者までの健康づくりの指導ができる。 ・ 期末試験の設題にもなっている8項目の内容を理解し、説明することができる。 ・ 幼児期の運動能力の特徴を理解し、運動と健康の在り方を追求する。						
授 業 の 概 要						
テキストを中心に授業を展開し、授業内容の設題8項目に対して科学的な健康づくりを学んでいく。 また、幼児期運動指針の内容にも触れ、発達や個人差を踏まえた幼児期の運動と健康の在り方について追及していく。						
成 績 評 価 の 方 法						
期末試験はテキストの内容を理解した上で、設題に対する自らの考察や課題提起、経験等を記述した内容の充実度に評価の重点を置く。 レポート課題は、収集した情報を活用しながら自らのスポーツに対する考え方に繋いでいく展開力を評価する。					期末試験	60%
					レポート	30%
					学習意欲	10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
テキスト「生涯スポーツ・健康科学」（近畿大学九州短期大学） 幼児期運動指針策定委員会「幼児期運動指針ガイドブック」（文部科学省）※プリントを配布 「保育園における危険予知トレーニング」（田中哲郎、日本小児医事出版社）※プリントを配布						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. スポーツの概念			時間数 2	6. 幼児期運動指針について		時間数 2
2. 社会生活の変化とスポーツ			2	7. 幼児期の運動能力と測定方法		2
3. スポーツ参加の現状と課題			2	8. 生活におけるトレーニング		1
4. 健康の概念			2			
5. 健康・体力と運動			2			
その他				関連科目		
				生涯スポーツ		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K15
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
情報処理入門 I			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	島田 幸紀
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
保育・教育の分野で ICT のスムーズな活用を行うために、コンピュータのデータ表現、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティについて理解できるようになる。					
授 業 の 概 要					
情報リテラシー I で学んだことを基礎に、ICT の今後の活用について学ぶ。 また、PowerPoint の基礎と有効な活用方法について演習する。					
成 績 評 価 の 方 法					
授業内での課題と参加度（学習意欲）を総合的に評価する。					課 題 70% 学習意欲 30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
保育者のためのパソコン講座（阿部正平・阿部和子・二宮祐子 著）萌文書林出版					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. プレゼンテーションを学ぼう		時間数			時間数
■プレゼンテーションとは		2	■園での様々なコミュニケーション		
■PowerPoint の基本操作			・ ICT を活用したコミュニケーションの紹介		1
Unit1 プレゼンテーションをやってみよう					
■基本操作の習得		2	・ 関連する 法律		1
■応用		2			
■発表		1			
2. パソコンリテラシーと情報倫理を学ぼう					
■保育の管理業務でのソフトの活用		1			
■文書ファイルやデータの適切な管理					
・ ファイル名称の標準化		1			
・ ファイルの破損、消失と分散のリスク対策		1			
・ 情報漏洩対策		1			
・ ネットワーク・リスク対策		1			
その他			関連科目		
			情報リテラシー I ・ II ・ III 情報処理入門 I S		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K16
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
日本国憲法			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	堀 保彦
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
憲法を体系的に修得するとともに、現代社会における憲法問題について自ら主体的に考察し、自分の考えを具体的に述べるができるようになることを本授業の目標とします。					
授 業 の 概 要					
日本国憲法は、国民の自由と権利を守り、自由で公正な社会を築くことを目指す法です。本授業では、日本国憲法の国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の基本原則とそれを実現するための統治機構を概観し、私たちと憲法の関わりについて考えます。最終回の授業で現代社会における憲法の問題点についてプレゼンテーションをしていただきます。					
成 績 評 価 の 方 法					
①毎回の授業で実施する演習課題への取り組み（学習意欲） 30%				学習意欲	30%
②日本国憲法の理解度（期末試験） 50%、				期末試験	50%
③憲法問題に対する主体的考察力（プレゼンテーション） 20%、 の3項目を総合した点数で評価する。				プレゼン	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
教科書：『日本国憲法』 下村孝（近畿大学九州短期大学通信教育部）					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 憲法とは何か		2	8. 精神的自由権		2
2. 明治憲法から日本国憲法へ		2	9. 表現の自由とその制約		2
3. 国民主権と象徴天皇制		2	10. 経済的自由権		2
4. 平和主義		2	11. 社会権		2
5. 基本的人権総論		2	12. 人身の自由・国務請求権		2
6. 日本国憲法における人権保障		2	13. 参政权・国民の義務		2
7. 包括的基本権		2	14. 統治機構の原理・権力分立		2
			15. プレゼンテーション（現代社会における憲法の問題点について）		2
その他			関連科目		
各回授業で講義内容を理解するための演習課題を実施する。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K17
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
幼児の心理学			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	15	1	磯部 隆
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
保育者として幼児の遊び、言葉の発達、学び、行動の仕方に関する理解を深めていく。 また、ボランティア活動や実習時など実際にこどもと接する際には、幼児の心理学での理解を基にコミュニケーションが取れるようにしていく。					
授 業 の 概 要					
幼児期の傾向と特徴、幼児の遊びの種類、遊びの治療的意味、遊びの教育的意義、言葉の発達、言葉の意義と獲得、遊びと学びの結びつき、人格形成理論と幼児の心理を概論していく。併せて、体験的な学び、演習を含めた学びを重視し進めていく。					
成 績 評 価 の 方 法					
基本的な事項の理解度を期末試験として評価。併せて、授業を重視するため一定の授業を経て、ミニレポートを提出することを求めます。まとめる力を培うためです。 また、授業への姿勢と取り組み(学習意欲)を重視し、評価に加味していきます。					期末試験 60% レポート 20% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
「よりよく生きるための心理学」(磯部 隆著 中部印刷)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1. 幼児心理の概説			2	8. 思考、学び	
2. 子どもの遊びの種類			1	9. 脳の働きと言葉	
3. 遊びの治療的意味			1	10. 幼児の行動と成長	
4. 遊びの境域的意味			1	11. 幼児のコミュニケーション	
5. 言葉の発達			1		
6. 言葉の意義と獲得			1		
7. 遊びと学びの結びつき			1		
その他				関連科目	
				教育心理学 S	

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K18
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
教育原理			講義・演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	森下 みつ美
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
・教育の目的、意義、方法などの基本的な内容について理解することができる。 ・外国や現代社会における教育の諸問題について考察し、幼児期の教育の基本原理とその特徴を学ぶことができる。					
授 業 の 概 要					
基本教科書に沿って授業を進めていくが、キーワードとなる人物やワードには補足したり資料を提示したりして説明していく。授業内では学習内容の理解を深めるために、グループワークや小レポートを実施する。					
成 績 評 価 の 方 法					
期末試験、課題（講義ごとの小レポート）、学習意欲（授業態度・発表・出欠状況）を総合的に判定し評価する。小レポートは授業内で実施するが、決められた期日までの提出と課題内容の記述があることが求められる。				期末試験	40%
				課 題	30%
				学習意欲	30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
保育のための教育原理 ミネルヴァ書房 ※必要なプリントを配布する。					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 教育とは何か		2	9. 教育の計画と評価		4
2. 幼児教育思想の歴史		4	10. 現代社会と生涯学習		2
3. 教育制度の成立と幼児教育の展開		2	11. 教育・保育現場をめぐる現代的課題		2
4. 戦後日本における教育の再出発		2	12. 連携による教育・保育		2
5. 教育の法規と制度の基礎		2			
6. 諸外国における教育・保育		2			
7. 教育の方法		4			
8. 教育の内容		2			
その他			関連科目		

シラバス（授 業 概 要） 時間数は45分換算					年 度	2024 年度
					科目コード	H-K19
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
造形表現（指導法）			講義・実技		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	15	1	戸塚 恵	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
保育者が幼児一人一人の自己表現を受容・理解し、幼児の豊かな感性を養う援助者であるために、子供の能力・身体的発達と幼児の発達過程の特徴について理解する。子供一人一人の発達に応じた援助の必要性について学び、成長を見守れる保育者を目指す。						
授 業 の 概 要						
幼児の身体・心及び能力の発達と造形表現の発達の関連を学び、それぞれの発達段階に対応した指導ができるように基礎的知識と技術の履修を目指す。材料や道具の正しい使い方と援助のノウハウを習得する。幼児の発達に応じた効果的な材料や道具の活用方法を創意工夫して制作する。						
成 績 評 価 の 方 法						
幼児の発達段階をまとめて造形表現発達表を制作するとともに、実技で制作する課題を総合的に評価する。テストは実施せず提出物で評価する					期末試験	0%
					課 題	80%
					学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
造形表現（指導法）教科書・アクリルガッシュ・スケッチブック・定規・ハサミ・カッター・のり・ボンド・ホットボンド（グルーガン）・折り紙・色画用紙、等						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1. 幼児の一般的な心身の発達			4			
2. 幼児の造形表現の発達			4			
3. 発達表の制作			2			
4. 幼児の発達に応じた道具の使い方指導と制作援助について						
①描く			2			
②切断と接着			2			
③遊ぶ			1			
その他				関 連 科 目		
				造形表現（指導法）S		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K20
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
幼児と言葉			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	森主 あゆみ
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義と機能について、説明できる。 言葉遊びなどの言葉の感覚を豊かにする実践について、基礎的な知識を身につける。 児童文化財（絵本・物語・紙芝居等）について、基礎的な知識を身につける。					
授 業 の 概 要					
子どもの発達における言葉の重要性について、理解を深めてください。そのためには、言葉とは何か、言葉の役割などを理解するとともに、言葉や表現を獲得する言葉遊びや絵本などに多く触れるように心がけてください。さらに、自分の言葉を見つめ直し、言葉の楽しさや美しさに気づき、言葉を豊かにするように心がけてください。					
成 績 評 価 の 方 法					
科目終末試験結果 学習態度（意欲・積極性・課題） 課題については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					期末試験 50% 学習態度 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
テキスト：子どもと言葉 厚生労働省「保育所保育指針解説書」（フレーベル館）文部科学省「幼稚園教育要領」（フレーベル館） 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. オリエンテーション	時間数	2			時間数
2. 言葉の発達と環境		2			
3. 子どもにとって言葉とは		2			
4. 保育内容・言葉「ねらい」		2			
5. 保育内容・言葉「内容」		2			
6. 保育内容・言葉「内容の取り扱い」		2			
7. 領域・「言葉」の具体的内容		2			
8. 言葉がけを中心としての援助と関わり		2			
その他			関連科目		
			言葉（指導法）		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K21
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
幼児と人間関係			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	榛葉 幸子
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
領域「人間関係」を学ぶ意義や子どもの資質能力との関係性を理解し、保育者としての援助の在り方や重要性を理解する。					
授 業 の 概 要					
現代の子どもを取り巻く環境や人間関係の在り方について理解し、人的環境である保育者として必要なことは何か、テキスト及び幼稚園教育要領を用いながら学習する。					
成 績 評 価 の 方 法					
科目終末試験ならびにレポート、課題の提出状況と内容、授業への参加態度を総合的に評価する。期限後の課題提出や未提出の場合は評価しない。					試 験 50% 課 題 25% 授業態度 25%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
幼児と人間関係 - 保育者をめざす - (金俊華/垂見直樹 編著 同文書院) 幼稚園教育要領解説 (文部科学省 フレーベル館)・保育所保育指針解説 (厚生労働省 フレーベル館)・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 (内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. 領域「人間関係」の社会的背景	時間数	2	6. 正しい幼児理解と保育の評価	時間数	2
2. 領域「人間関係」と子どもの資質能力との関係	2		7. 特別な支援を必要とする子どもの援助	2	
3. 領域「人間関係」のねらいと内容	2		8. 幼児教育・保育と小学校との接続の必要性和取り組み	2	
4. 子どもの家庭背景を踏まえた幼児教育・保育の視点	2				
5. 保育者のかかわり方と集団作り協同的な学びとは	2				
その他			関連科目		
			人間関係 (指導法) S		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K22
授 業 科 目 名				授業形態	
幼児と環境				講義・演習	
履修学年				学科・コース	
1				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	田村 都弥
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園・保育要領」における領域「環境」という側面から、子どもの発達特性、学習計画と実際の指導法を理解する。					
授 業 の 概 要					
領域「環境」のねらいと内容を知り、実際の子どもの姿や育ちを思い浮かべながら、グループでより良い保育を論じて探っていくアクティブラーニングによって、深い理解と能力を身につける。					
成 績 評 価 の 方 法					
通常授業での積極性や協力的な学びの姿勢 レポート等での理解度 を総合的に評価する				課 題	50%
				学習意欲	50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
教科書：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説 最新保育講座9 保育内容 「環境」(柴崎 正行, 若月 芳浩, ミネルヴァ書房)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. 現在の社会におけるこどもを取りまく環境について考え、保育の役割について考察する			時間数 2		
2. 成長過程におけるこどもの環境への関わりや発達過程を学ぶ			4		
3. 領域「環境」のねらい・内容を理解する			4		
4. 環境活動の展開と援助について具体的な事例から指導方法を学ぶ			4		
5. 実践演習・発表			2		
その他				関連科目	
				環境 (指導法) S	

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2024 年度
時間数は45分換算					科目コード	H-K23
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
社会福祉			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	工藤 豪	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
社会福祉に関する基本的知識を身につけるとともに、医療・介護・年金・生活保護など日本の社会保障における仕組みや特質・課題について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。						
授 業 の 概 要						
世界で最も老年人口割合が高く、人口高齢化の著しい日本社会において、社会福祉の制度・サービスは重要な意味をもっている。本授業では、講義形式と資料解釈作業およびグループ考察を併用し、社会福祉の歴史的展開や人口高齢化の動向、社会保障と人びとの生活の関わりについて理解を深めていく。						
成 績 評 価 の 方 法						
試験（試験）、作業プリントやリアクションペーパーの内容等（課題）、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢など（学習意欲）、以上から総合的に評価する。					試 験	50%
					課 題	25%
					学習意欲	25%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
『コメディカルのための社会福祉概論 第5版』（2023、鬼崎信好・本郷秀和編、講談社）						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. オリエンテーション・社会福祉の歴史と展開（1） —明治期—			時間数 2	9. 社会保障制度の体系（2） —社会保障費用の推移と推計—		時間数 2
2. 社会福祉の歴史と展開（2） —大正期・昭和前半—			2	10. 社会保障と社会福祉（1） —健康保険と国民健康保険—		2
3. 社会福祉の歴史と展開（3） —戦後の日本—			2	11. 社会保障と社会福祉（2） —高齢者に関する医療制度—		2
4. 人口高齢化の動向（1） —人口高齢化の国際比較—			2	12. 社会保障と社会福祉（3） —介護保険制度の概要—		2
5. 人口高齢化の動向（2） —死亡率の低下と長寿化の影響—			2	13. 社会保障と社会福祉（4） —介護保険制度の特徴と課題—		2
6. 人口高齢化の動向（3） —人口移動と老年人口割合の関係性—			2	14. 社会保障と社会福祉（5） —公的年金制度の概要—		2
7. 人口高齢化の動向（4） —高齢化の地域差に関する将来推計—			2	15. 社会保障と社会福祉（6） —生活保護制度の概要—		2
8. 社会保障制度の体系（1） —社会保障制度の機能・財源方式—			2			
その他				関連科目		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2024 年度		
				科目コード		H-K26		
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース			
社会的養護 I			講義		こども保育科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	前期	必修	30	2	工藤 豪			
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標								
社会的養護に関する基本的な知識を身につけるとともに、社会的養護における理念・仕組み・実施体制などの特質・課題について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。								
授 業 の 概 要								
わが国は子どもの出生数が減少しているにもかかわらず、保護や養護を必要とする子どもは増加傾向にあり、社会環境の変化の中で社会的養護の必要性は高まっている。そのような状況を踏まえ、社会的養護の歴史・理論・体系、その特徴や課題などについて理解を深めていく。								
成 績 評 価 の 方 法								
試験（試験）、作業プリントやリアクションペーパーの内容等（課題）、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢など（学習意欲）、以上から総合的に評価する。					試 験	50%		
					課 題	25%		
					学習意欲	25%		
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材								
『MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉 5 社会的養護』（2018、伊藤嘉余子・福田公教編著、ミネルヴァ書房）								
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画								
1. オリエンテーション・社会的養護の動向と現状			時間数	2	9. 社会的養護の実施体制		時間数	2
2. 社会的養護で暮らす子ども				2	10. 社会的養護の枠組み－パーマネンシーという視点－			2
3. 社会的養護を支える理論				2	11. 施設養護（1）－機能と役割の変化－			2
4. 社会的養護の必要性				2	12. 施設養護（2）－レジデンシャルワーク－			2
5. 子どもを産み育てるということ				2	13. 家庭的養護			2
6. 社会的養護の歴史（1）－古代から大正期まで－				2	14. 里親制度の概要と課題			2
7. 社会的養護の歴史（2）－昭和期から現代まで－				2	15. 小規模住居型児童養育事業と養子縁組制度			2
8. 社会的養護の歴史（3）－近年における課題－				2				
その他				関連科目				
				社会的養護 IIS				

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2024 年度
時間数は45分換算					科目コード	H-K33
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
教育課程総論			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	森主 あゆみ	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
教育課程の目的や意義に関して、基本的な理解が深められるになる 幼児期の特性をふまえ、幼児教育課程のあり方に対する理解が深められるようになる 教育課程の編成及び指導計画作成に対する理解が深められるようになる						
授 業 の 概 要						
教育課程は、幼児が園で過ごす時間の全体をデザインするものであり、教育の目的や目標を表すものでもあります。具体的な指導案の作成を通して、保育展開のながれを知る。						
成 績 評 価 の 方 法						
試験（試験）、作業プリントや課題、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢など（学習意欲）、以上から総合的に評価する。 課題については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					課題	50%
					学習意欲	50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
新しい幼児教育課程総論（岸井勇雄、横山文樹、同文書院）						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1. 幼児期の特質			2	10. 教育課程、全体的な計画の評価		2
2. 教育課程、全体的な計画の意義と方向			2	11. 教育課程、全体的計画と指導計画の事例		2
3. 「3つの資質・能力」「幼児期までに育てほしい10の姿」			2	12. 指導計画の作成ポイント		4
4. 幼稚園・保育所・認定こども園			2	13. まとめ		4
5. 教育課程、全体的な計画の基準			2			
6. 幼児教育課程の基本			2			
7. 基礎となる幼児の姿			2			
8. 目的・目標と、ねらい及び内容			2			
9. 教育課程、全体的な計画の編成と指導計画の作成			2			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K34
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
教育方法論			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	実務経験のある教員
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
①幼児教育・保育に関する基礎的な基本的知識を理解する。 ②上記の点を踏まえ、保育現場における適切な活動を構想できるようになる。 ③教師・保育者の意図や工夫、子どもの学びについて考える。					
授 業 の 概 要					
前半：教科書中心に幼児教育の方法について講義をする。(環境を通した保育・主体的保育・遊びを通した保育・保育形態を学ぶ) 後半：乳児から幼児へのつながる保育を発達領域と保育環境から学ぶ。					
成 績 評 価 の 方 法					
記述テスト、課題の内容や提出方法、学習態度等を考慮し、総合的に判断し評価する。グループディスカッションには積極的な参加を望む。				期末試験	50%
				課 題	30%
				学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
テキスト：「幼児教育の方法」(小田 豊・青井典子) その他：必要に応じてプリント配布					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. オリエンテーション		時間数	8. 遊びの中の学びをはぐくむ保育		時間数
全講義の流れ・幼児期にふさわしい教育方法とは何か。		2	友だちと関わってする遊び		2
2. 幼児教育と保育		2	共通の目的を見出し協同する遊び		
3. 環境を通しての保育		2	9. 様々な保育形態を学ぶ		2
4. 遊びを通しての保育		2	保育形態のタイプ		
5. 子どもの主体性の育成		2	10. 保育における評価		2
6. 保育者の役割		2	11. 保育の記録と省察		2
7. 遊びの中の学びをはぐくむ保育		2	12. 小学校との接続と連携		2
感じる・表現する遊び			13. 家庭と地域との連携		2
気づく・試す・考える遊び			14. 保育におけるカウンセリングマインド		2
			15. まとめ		2
その他			関連科目		
講義終了後、ワークシートにて自身の学びを振り返る。					

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2024 年度
時間数は45分換算					科目コード	H-K35
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
教職概論			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必須	30	1	実務経験のある教員	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
①教職の意義、職務内容、資質について理解する。						
②自分自身が目指す教師像をより豊かに明確なものとする。						
授 業 の 概 要						
教育とは何か、子どもにとっての教師とは何か、教職に関わる職務内容や歴史等を理解しながら学ぶ。 また、指導の方法と考え方、カウンセリングマインドについての学びを深めながら、どのような教師として成長したらよいかを事例や記事を通して自分なりの答えを導き出していく。						
成 績 評 価 の 方 法						
記述テスト、課題の内容や提出方法、学習態度等を考慮し、総合的に判断し評価する。 グループディスカッションには積極的な参加を望む。					期末試験	50%
					課 題	30%
					学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
改訂 教職概論 (古橋和夫) その他：必要に応じてプリント配布						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1. ガイダンス～教育とは何だろう			2	8. 幼稚園・保育所・認定こども園 の 生		2
2. 教職とは何か			2	活		2
3. 教師としての資質と生活			2	9. 小学校での学習		2
4. 現代社会における子ども 今、子どもに何が起きているか ～グループ討議			2	10. チームとしての学校		2
5. 現代社会における子ども 今、子どもに何が起きているか ～グループ討議			2	11. 保育・教育の場でのカウンセリング グマインド		2
6. グループ発表			2	12. 教師をめぐる新しい動き		2
7. 幼稚園・保育所・認定こども園について			2	13. 教師をめぐる法律 ～教職教員免許法・教師の身分・服務義務		2
				14. 教育の質を高めるための自己研鑽		2
				15. まとめ		
その他				関連科目		
授業内におけるグループ討議には積極的に参加してください。また、日頃からニュースや新聞に掲載される教育に関する記事に注目してほしい。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K38
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
児童文化			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必須	15	1	実務経験のある教員
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
保実で、子どもたちの前で絵本の読み聞かせや紙芝居を演じること等ができるようになる。また、実際に保育者になってから、適切な児童文化財を子どもに与えることができるようになる。 オリジナルの児童文化財を制作し発表することができる。					
授 業 の 概 要					
子どもの生活の中心には遊びがある。児童文化の中心的な課題を遊びの中に見出し、子どもの成長と文化の関わり、具体的な活用方法等を学ぶ。 児童文化財の実践を通して、子どもに対する効果的な働きかけ方について学び、保育者としての役割を理解し実践につなげていく。					
成 績 評 価 の 方 法					
学習意欲や授業内での発表（手遊び、絵本、紙芝居等）課題、レポートを総合評価したうえで決定する。				期末試験	25%
				課 題	50%
				学習意欲	25%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
・児童文化（近畿大学九州短期大学発行） ・必要な資料をプリント					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1	オリエンテーション 児童文化とは何か	2	3	絵本の読み聞かせ 3-1 実践	2
2	児童文化財の種類の紹介 特徴と演じ方		4	紙芝居	1
2-1	手遊び、絵本、紙芝居 ペープサート、手袋シアター エプロンシアター、パネルシアター あやとり	2	4-1	紙芝居を演じる	
2-2	手遊び、絵本の演じ方、実践	2	5	パネルシアター、ペープサート	3
2-3	体操、絵本、音楽読み聞かせ 実践（あやとり、折り紙、伝承あそび）	2	6	オリジナル制作	
			6-1	制作	1
			6-2	発表	1
その他			関連科目		
・制作セット（のり、はさみ、テープ、ペン他） 絵の具一式、パネル布、Pペーパー ・絵本（読み聞かせ用）・パネルシアターの舞台 ※実務経験のある教員が担当する科目である			・児童文化 S		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K40
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
音楽Ⅰ			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90		大須賀 千尋
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
基礎的な技術を習得し、簡単な弾き歌いができる 童謡等たくさんの歌を知り、歌唱していく中で楽しさを感じていく 楽典で演奏に必要な知識を身につける					
授 業 の 概 要					
「音楽の楽しさ」を伝えられる幼児教育者となる為に必要な表現力・技術力をつける第一段階として、「歌うこと」、「弾くこと」の基礎を作っていく。前・後期で実技、楽典（筆記）の試験を行う。 ピアノは個々の能力や進度に応じて進めていく。					
成 績 評 価 の 方 法					
・実技、楽典(筆記)試験 ・授業の参加態度、参加意欲 ・日々の練習課題(バイエル、弾き歌い曲、楽典) 以上を基に総合評価する				期末試験	50%
				課 題	25%
				学習意欲	25%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
近畿大学九州短期大学音楽 ピアノ教本、声楽教本 バイエル終了バイエル教本 保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集 ジュニアクラスの楽典テキストワーク 他、随時配布するプリント					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
	時間数		時間数		
コミュニケーション 基礎知識	6	夏休みの課題確認	4		
レッスン、歌、楽典①	4	レッスン、歌、楽典⑩	4		
レッスン、歌、楽典②	4	レッスン、歌、楽典⑪	4		
レッスン、歌、楽典③	4	レッスン、歌、楽典⑫	4		
レッスン、歌、楽典④	4	レッスン、歌、楽典⑬	4		
レッスン、歌、楽典⑤	4	レッスン、歌、楽典⑭	4		
レッスン、歌、楽典⑥	4	レッスン、歌、楽典⑮	4		
レッスン、歌、楽典⑦	4	レッスン、歌、楽典⑯	4		
レッスン、歌、楽典⑧	4	レッスン、歌、楽典⑰	4		
レッスン、歌、楽典⑨	4	レッスン、歌、楽典⑱	4		
前 期 試 験	4	後 期 試 験	4		
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である		音楽Ⅱ、音楽Ⅲ、 音楽表現（指導法）S、幼児と音楽表現			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2024 度	
時間数は45分換算				科目コード	
H-K43					
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
実習指導Ⅰ			その他		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	森主 あゆみ
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
保育実習・教育実習の意義、目的や各施設と役割について理解し、自らの課題を明確にできる。また、実習へむけて必要な知識、マナー、子どもとの関わり方を身に着け、実習に対する不安や困難を軽減する。					
授 業 の 概 要					
・テキストを使用しながら、実習に必要な知識、マナー、子どもや保育者との関わり方、トラブルが起きた時の対策など具体的に学び、実習で活かせるようにする。また、実際にこども園へ見学に行き日誌の記入の仕方について学ぶ。 ・テーマに沿っての自分の考えや不安をグループやクラスで話し合う中で気持ちを共有する。また、不安をそのままにせず解決策を考えたり提示したりすることで自信を持って実習に臨めるようにする。					
成 績 評 価 の 方 法					
学習意欲（授業態度・グループワークでの取り組みや発表）、課題（保育に関する実技課題・実習課題・保育漢字テスト）を総合的に評価する。					課 題 50% 学習意欲 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
・幼稚園・保育園事前実習指導（近畿大学九州短期大学発刊） ・自分てつくるBOOK&NOTE－教育・保育実習でよりよい時間を過ごそう－（同文書院） ・保育の基本用語 ・保育のマナーと言葉 （わかば社）他					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション		2	8. オリエンテーション		2
保育者に求められる資質			保育所見学に向けて観察のポイント		
2. 実習の目的		2	9. 保育所見学		4
3. 実習の課題Ⅰ		2	10. 「実習オリエンテーション」について・保育者の仕事を学ぶ		8
4. 実習の課題Ⅱ		2	11. 日誌・指導案の書き方		6
5. 安心して実習に挑む為に		4	12. 実習に役立つ教材製作		6
保育者になる為に今できること			13. 実習に向けての心構え		
6. 安全や健康衛生の理解		4	トラブルが起きた時の対処法		4
7. 実習の決定にあたって			14. 実習直前指導		4
電話の掛け方		4	15. 自主実習を終えてⅠ		2
			16. 自主実習を終えてⅡ		2
			17. まとめ		2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である			・実習指導Ⅱ ・実習指導Ⅲ		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2024 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		H-K47	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
制作演習 I			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	2	吉村 香央里		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
領域「表現」におけるねらいや内容と照らし合わせながら、保育における制作の教育的意義を理解し、保育を展開できる知識と技術の基礎を身に着ける。							
授 業 の 概 要							
領域「表現」におけるねらいと内容を学び、制作活動の教育的意義を理解する。また、制作演習を通して様々な素材や用具に触れ、その特徴を理解しながら、知識や技術の基礎を培う。							
成 績 評 価 の 方 法							
授業での積極性や課題提出などを学習意欲として評価。 制作物は協同性・完成度・提出時期を含めて課題として評価する。						課 題	60%
						学習意欲	40%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
制作セット：のり・はさみなど							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 当番表の作成（グループワーク） 2. 保育における制作と子どもの発達（領域「表現」のねらい・内容、その他領域との関連性をふまえて） 3. 基本的な用具の扱い方・片付け方 4. 季節の壁面制作（グループワーク） 5. 自己紹介絵本づくり 6. 実習で使いたい教材づくり 7. 制作物発表			時間数				時間数
			4				
			2				
			2				
			4				
			8				
			6				
4							
その他			関連科目				
			劇あそび 児童文化、造形表現（指導法）、実習指導				

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-K53
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
交流ゼミ I			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	森主 あゆみ
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
校内・校外の講師や同じ目的を持つ学生・実習生と交流を持つことで、今後の進路選択に役立てる。 普段の授業では学べない特別講座を通じて、実践力を身につけることができる。					
授 業 の 概 要					
保育特別講座を全4回に渡って開催し、保育・教育分野への興味を抱き、自ら進んで制作などの技術を学ぶ。 また、ボランティアや実習時に使える教材や遊びなどを多く学習する。					
成 績 評 価 の 方 法					
保育特別講座後のレポート提出(課題)によって評価する。 また、実習報告会での報告書や発表の姿勢(学習意欲)なども評価の対象とする。					課 題 50% 学習意欲 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1. 保育特別講座①(6月)			4		
2. 保育特別講座②(1月)			4		
3. 保育特別講座③(2月)			4		
4. 「絵本講座(選び方・読み方)」(10月)			2		
5. 保育実習報告会 「2年生による報告会」			8		
6. 児童養護施設見学			8		
その他				関 連 科 目	
				交流ゼミⅡ・Ⅲ	

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-S01
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
英会話 IS			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	20	1	紅林 江身子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
近年、ネイティブ講師を交え簡単な英語表現を経験させる園などが増えつつある中で、そのことを念頭におきつつ、保育士の立ち位置や役割を踏まえ、保育士各々の英語力アップを図る。					
授 業 の 概 要					
主に保育のための基礎英語力をつける。 英語の歌やアクティビティを通じ、講師や子供の立場を経験し、他国の文化を学び知識を増やす。また異文化や英語でのコミュニケーションを楽しむ。					
成 績 評 価 の 方 法					
期末試験（文法、フレーズ、単語など）による評価。 学習意欲の評価として ・ コミュニケーション能力での評価。 （日本語でも自分の意見や考えアイディアなどを出せる。他の生徒とシェアできる） ・ 英語でのコミュニケーション能力での評価。 （拙い英語でも、相手に伝えようとする姿勢や、聴こうとする力） ・ 授業態度や、英語学習への意欲や積極性への評価を加味する					期末試験 60% 課 題 20% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
・ Happy English for childcare (KINSEIDO) ・ 中学3年分をたった7日で総復習（学研プラス）より抜粋					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1.テキスト Happy English for childcare より Unit1ー15 まで 2.歌やアクティビティ 3.試験 中学英語 保育の為の基礎英語 レポート			時間数 16 2 2	時間数	
その他				関連科目	
				英会話 I	

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-S02
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
生涯スポーツ S			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	実務経験のある教員
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
・生涯スポーツの意義や目的を理解し、スポーツの在り方について学びを深める。 ・「タグラグビー」や「ソフトバレー」等を通して、コミュニケーション力の大切さを実体験する。 ・グループワークを取り入れて「スポーツの楽しさとは何か」を追求する。					
授 業 の 概 要					
生涯スポーツにおける最大のキーワードでもある「いつでも、どこでも、誰でも」を、ソフトバレー、アルティメット、タグラグビー、スポーツ鬼ごっこ等を軸に実践しながら学びを深めていく。 また、グループワークを通して楽しみ方の工夫やアレンジ力、コミュニケーション力を豊かにし、様々な状況や環境に対して、臨機応変に活動を展開していく力を養う。					
成 績 評 価 の 方 法					
授業全体を通して学んだことや生涯スポーツとの向き合い方等をレポートとしてまとめる。 また、演習の積極性や態度を重点的に評価し、個々のコミュニケーション力も評価の対象とする。				学習意欲・態度	50%
				課 題 レ ポ ー ト	50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
・各種スポーツで使う用具					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. アイスブレイク		2	6. 「アルティメット」		
2. 生涯スポーツの意義と役割		2	6-1. ルールと楽しみ方の理解		2
3. 「ソフトバレー」			6-2. 試合形式で楽しむ		3
3-1. ルールと楽しみ方の理解		1	7. 「スポーツ鬼ごっこ」		
3-2. 対象年齢による楽しみ方の工夫 (グループワーク)		2	7-1. 鬼ごっこの文化と歴史		1
3-3. 試合形式で楽しむ		3	7-2. 様々な鬼ごっこを体験する		1
4. 「タグラグビー」			7-3. 試合形式で楽しむ		2
4-1. ルールと楽しみ方の理解		2	8. まとめ・レポート作成		1
4-2. 試合形式で楽しむ		3			
5. 「ポートボール」					
5-1. ルールと楽しみ方の理解		2			
5-2. 戦術の工夫・試合		3			
その他			関連科目		
			健康科学		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2024 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	H-S03
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
情報処理入門 I S			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	20	1	島田 幸紀	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
保育・教育の分野でICTのスムーズな活用を行うために、コンピュータのデータ表現、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティについて理解する						
授 業 の 概 要						
情報処理入門 I で学んだことを基礎に、ICTの今後の活用について学ぶ。 また、活用の方向性やネットワークについて理解する。						
成 績 評 価 の 方 法						
授業内での課題と学習意欲を総合的に評価する。					課 題	70%
					学習意欲	30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
保育者のためのパソコン講座（阿部正平・阿部和子・二宮祐子 著）萌文書林出版						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. ネットワークを学ぼう			時間数	Unit1 保育の場での E メール使用を 考えてみよう		時間数
■コンピュータ・ネットワーク				■SNS の活用など		10
・インターネット			1	・幼稚園・保育所での活用方法		
・携帯電話やスマートフォンによる通信				・事例検索・まとめ		
・クラウド・サービス			1	・今後の展開		
・IoT				・考察（レポート提出）		
■Web サイト						
・Web サイトのしくみ			2			
・幼稚園や保育所（園）での コンピュータ及び ネットワーク利用			2			
■電子メール（E メール）						
・メールの送受信			1			
・メールの返信・転送			1			
・メール送受信でのマナー			2			
その他				関連科目		
				情報リテラシーⅠ・Ⅱ・Ⅲ 情報処理入門Ⅰ		

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2024 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	H-S04
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
幼児と音楽表現 S			講義・演習 アクティブラー ニング		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	20	1	竹中 紀江	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
幼児教育に携わる保育者の音楽の技術の習得や、資質の向上が出来る。 アンサンブルによって個々の能力を高め合い音楽の楽しさを知る事が出来る。						
授 業 の 概 要						
日頃の練習の成果を発表する場を設け、お互いの演奏を聴き合う。 発声法の基本と読譜力をつけ、子どもの歌のレパートリーを増やす。歌唱に伴うピアノ伴奏の移調法を学ぶ。楽器演奏に必要な知識や技術を学び、アンサンブルの楽しさを学ぶ。						
成 績 評 価 の 方 法						
授業への積極的参加 授業内での発表および課題 以上を総合的に評価する					発 表 課 題 学習意欲	60% 20% 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
教科書：「音楽(ピアノ教本)」「音楽(声楽教本)」 必要に応じて楽譜プリント配布						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. ピアノ発表会 発表会にて日頃の練習の成果を発表し、お互いの演奏を聴き合い、感想を述べる			時間数 4	4. 幼児音楽のいろいろな歌 実習に合わせた曲を選曲。 個々のレベルに合う弾き歌い		時間数 2
2. ミュージックベルアンサンブル 身近な曲から、ベルに相応しい曲を選曲、英米音名を学び、音程の感覚を養う。			4	5. 合唱・器楽アンサンブル 楽器の特徴を捉え、リズム譜を理解する。自分のパートに責任を持つ。		4
3. 歌唱に伴う移調法 歌いやすい調性を理解する。また、自分で楽譜を書きあげ、見やすい額を作り上げる。			4	6. アンサンブルの発表 まとめ		2
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 音楽表現（指導法）S 音楽表現技術 S		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-S07
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
教育心理学S			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	磯部 隆
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
・ 保育者としての子どもの動機付け、学び、記憶、思考、また、パーソナリティ（人格、及び人格形成）の理解を深め、保育活動に活かせるようになるために学ぶ。また、保育や教育に活かす心理学の学びを深める。					
授 業 の 概 要					
子どもの学習、学習の基本原理、記憶、記憶のしかた、思考、知能、学ぶ意欲、遊び、教育評価及びパーソナリティのスキルや知識を深められるよう基本的なレクチャーと、演習を織り込み講義をする。					
成 績 評 価 の 方 法					
試験は、授業で取り上げたことを中心に基本的なことが理解されているかを問う。また、課題については、一定の授業を終えてのミニレポートを提出する。加えて各時間の授業への取り組みの姿勢や態度を問う。なお、ミニレポートは、まとめる力や表現の仕方をレッスンすることを含む。				期末試験	60%
				課 題	20%
				学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
・「よりよく生きるための心理学」 磯部 隆著 中部印刷					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. オリエンテーション 学習の仕方、ミニレポートのまとめ方	時間数				時間数
	1	8. 子どもの遊び			2
2. 脳の働きと動機付け	2	9. 学習と思考			2
3. 脳の働きと願望と行動と認知	2	10. 知能と教育評価			2
4. 学習心理	2	11. パーソナリティ			2
5. 学習の原理	2	類型論、特性論、分析理論ほか			
6. 記憶	2				
7. 記憶の原理	1				
その他				関連科目	
				幼児の心理	

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2024 年度	
時間数は45分換算				科目コード		H-S08	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
健康（指導法）S			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	20	1	田村 都弥		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
子どもの身体発達の特性を知り、子どもが進んで身体を使ったあそびを楽しむような保育の指導と援助が理解できる。							
授 業 の 概 要							
学生自身がいつの間にか楽しんで身体を動かしていたという体験をする中で、集団や個、安全性や興味づけの方法など子どもたちが、安全で楽しくあそぶ方法を探っていく。健康で安全に生活することの意識づけについて考察する。							
成 績 評 価 の 方 法							
通常授業での積極性や協力的な学びの姿 レポート等での理解度 を総合的に評価する						課 題	50%
						学習意欲	50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
教科書なし。適時プリント配布 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. オリエンテーション			時間数 1	6. 身体を動かす遊びの実践と考察 （器具を使ったあそび・縄あそび・ 伝承あそび）			時間数 4
2. 現在のこどもを取りまく環境について 考え、幼児体育の必要性と役割について 考察する			3	7. 安全管理と緊急対応			2
3. スキャモンの発育発達極性をもとに、幼 児の身体の育ちの特性を学ぶ			4				
4. 身体を使ったあそびの実際と考察 「徒手運動」「ゲームあそび」「ボールあ そび」「日用品を使ったあそび」			4				
5. リズムあそびやパラバルーンを使った あそびを通して子どもの動きを知る			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-S09
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
人間関係 (指導法) S			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	榛葉 幸子
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
人との豊かな「かかわり」を育てる保育者としての役割と視点という側面から、実践的課題に触れ、保育の指導能力を育成する。					
授 業 の 概 要					
グループディスカッションやロールプレイを行いながら事例研究を行う。また、指導法として、実際に領域「人間関係」を育む保育とはどうすればよいのか、指導案を作成し、模擬保育を行う。					
成 績 評 価 の 方 法					
事例研究のまとめや指導案の作成内容及び提出状況、グループディスカッション等への授業への参加姿勢を総合的に評価する。 提出期限後の提出や未提出がある場合は評価しない。					課 題 60% 授業態度 40%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
教科書なし。適時プリント配布 幼稚園教育要領解説 (文部科学省 フレーベル館)・保育所保育指針解説 (厚生労働省 フレーベル館)・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 (内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. オリエンテーション 人間関係 (指導法) S の内容に興味を持ち、授業内容、学習方法を知る。			時間数 2		
2. 事例研究・グループディスカッション			10		
3. 指導案作成と模擬保育			8		
その他				関連科目	
				幼児と人間関係	

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-S11
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
造形表現 (指導法) S			講義・実技		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	戸塚 恵
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
制作活動を通して、素材や道具の特性と正しい使い方を身に付けることができる。切断・接着・異種素材の組み合わせ・塗装の基礎知識などを習得する。他の生活領域や表現分野とのかかわりに気を配りながら、造形表現を通して感動を伝え合う喜びを大切にできる様、造形の基礎から応用まで体験する。					
授 業 の 概 要					
造形の基礎となる、平面 (絵画・デザイン) 立体 (工作・粘土) の作品制作を通して基礎的な技術を学び、幼児の造形活動への理解を深める。 制作した作品を使って実際に遊びをシミュレーションし、幼児の世界を体感しながらお互いの制作物についての理解を深める。					
成 績 評 価 の 方 法					
創意工夫と発想の豊かさが必要になる材料集め。制作課題の完成度。集中力と取り組み、プレゼンテーション内容。				期末試験	0%
				課 題	80%
				学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
はさみ、カッター、定規、接着剤 (マルチボンドやテープ類)、段ボール、工作用の素材廃品 (容器類・箱・包装紙など)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
お店を作ろう！～ミニチュア工作			時間数		時間数
① 制作概要			1		
② 制作計画・設計と材料確認			2		
③ 制作～建物構造と家具			15		
④ ～粘土小物					
⑤ ～装飾と仕上げ					
⑥ 制作発表プレゼン			2		
その他			関連科目		
			幼児と造形表現		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2024 年度	
時間数は45分換算					科目コード	H-S12	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
音楽表現(指導法)S			講義・演習 アクティブラーニング		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	20	1	竹中 紀江		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
人の心を動かし、体を動かす音楽を自己表現し、保育者に必要な柔軟性に富んだ発想力・表現力を身に付けることができる。							
授 業 の 概 要							
言葉だけでは伝わりにくいが、音楽を加えることによって、伝えやすく印象に残りやすい、その表現方法を学ぶ。子どもたちが楽しく覚えて歌うために「うた紙芝居」を使って歌の指導することを保育現場での一つの手段として学ぶ。体の動きをつけたボディーパーカッションでリズム感を養う。幼児音楽が子供に果たす役割を理解しリズムと言葉の面白さを感じながら自然な動きを用いて、表現する事を学ぶ。							
成 績 評 価 の 方 法							
授業への積極的参加					発 表	60%	
授業内での発表及び課題での評価					課 題	20%	
以上を総合的に評価する					学習意欲	20%	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
教科書：「音楽(ピアノ教本)」「音楽(声楽教本)」 必要に応じて楽譜プリント配布							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1、うた紙芝居の制作 ストーリー性のある幼児音楽を選曲、歌詞をイメージして絵を描き、紙芝居を制作。			時間数 2	3、うた紙芝居の曲のピアノ実践 4、うた紙芝居の発表 5、ボディーパーカッション 6、自然な動きを用いてリズムと言葉の面白さのある幼児音楽			時間数 2 2 2 4
2、うた紙芝居を実践 導入：紙芝居のようにお話したり歌ったりして歌の内容を把握、どんな歌なのかイメージする 指導：まずはピアノ伴奏なしで子供たちと一緒に歌う。紙芝居によって長い歌詞を理解しやすくする。 発展：子どもたち自身が紙芝居を制作し、より興味を持たせる。			4	7、広がる音楽表現			4
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 幼児と音楽表現S 音楽表現技術S			

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2024 年度
時間数は45分換算					科目コード	H-S13
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
環境（指導法）S			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	20	1	田村 都弥	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
自然体験や生活体験の中で出会う身近なものを使って、子どもが興味を持って関わりを深めていく保育の指導能力を育成する。						
授 業 の 概 要						
学生自身が実際に授業の中で、「不思議」「面白い」「なんでだろう」「なるほど」を体験し、子どもたちの姿を思い浮かべながら、実際の保育計画や援助を考える。						
成 績 評 価 の 方 法						
通常授業での積極性や協力的な学びの姿 レポート等での理解度 を総合的に評価する					課 題	50%
					学習意欲	50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
教科書なし。適時プリント配布 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. オリエンテーション			時間数	6. 環境について保育現場での指導方法を考察する		時間数
2. 領域のねらいと内容について			1			4
3. 自然物の中でのあそび方（実践） 自然物の特性を知る			1	7. （保育活動）実践演習		2
4. 自然物を使ったあそび（実践）			4			
5. 自然環境で気づいたり、学んだりした体験の中から考察して発表する			4			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-S14
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
言葉 (指導法) S			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	森主 あゆみ
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
領域「言葉」のねらいや内容について深く考える。 言葉を育てるためには、どのようにすれば良いかを学び保育する楽しさや実践力をつける。 自分の言葉を見つめ直し、言葉の持つ楽しさや美しさに気付き豊かな感性を持つ					
授 業 の 概 要					
年齢、季節にあった絵本や紙芝居の選び方・読み方の演習、言葉を楽しむ演習をする。 場面に合った言葉掛けや会話を想定しながら言葉の可能性をグループで発表し、掘り下げて考察する。					
成 績 評 価 の 方 法					
授業態度 (意欲・積極性)・製作物の完成度、発表・考察を総合的に評価する。 課題については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					授業態度 50% 製 作 物 50% (発表)
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
印刷物 製作に必要なもの (のり・はさみ・マジック・セロテープ等)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. オリエンテーション…自己紹介 2. 絵本について 3. 場面選び 4. グループ活動 5. 発表・考察	時間数				時間数
	1	11.手遊び、言葉遊び			1
	1	12.児童文化財について			1
	1	13.年齢 季節に合った選書方法			1
	1	14.玩具、教具について			1
	6	15.製作・発表			6
その他			関連科目		
			幼児と言葉		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-S19
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
劇あそび (指導法) S			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	森主 あゆみ
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
領域「表現」のねらい・内容や子どもの発達に即した劇遊びの過程を理解し、その援助の方法を考える等、子どもの表現を育てる実践力と指導法を身に着ける。					
授 業 の 概 要					
子どもの発達の側面から劇遊びをとらえ、子どもの立場に立った演習を通して、援助や配慮すること等保育者の役割を考察する。中間発表では互いの発表を見合うことで、工夫点や改善点等意見を出し合い、改善を図っていく。					
成 績 評 価 の 方 法					
学習態度 (意欲・積極性・協同性) 課題 (評価表・授業後レポート) 課題については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					学習態度 50% 課 題 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型こども園保育・教育要領解説 (フレーベル館) プリント、大道具・小道具作りに使う教材					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画グループ					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション		2	7. グループ活動 (改善・練習)		4
保育における劇遊びとは			8. グループ活動 (リハーサル)		2
2. グループ活動		4	9. 発表		2
シナリオ・配役決め・制作			10. まとめ・反省		2
4. グループ活動 (練習)		2			
5. 中間発表・意見交換		2			
その他			関連科目		
			制作演習 I		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2024 年度 H-S21
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
保育内容総論 S			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	実務経験のある教員
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
①保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」の関連を理解する。 ②子どもの発達特性や発達過程を踏まえて、観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかわりについて学ぶ。 ③保育の多様な展開について具体的に理解する。					
授 業 の 概 要					
保育全体を理解するための資料及び具体的な実践事例等から学び合う。主体的な学びによって「子どもの発達や実態に即した保育内容を考え合う」保育内容の基本的な考え方を理解する。また、保育内容をより豊かにするための「テーマ」を考え、相互に発表し合う。					
成 績 評 価 の 方 法					
授業への取り組み、課題の内容や提出方法、学習態度等を考慮し、総合的に判断し評価する。				レポート	50%
				課 題	30%
				学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
必要に応じてプリント配布 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
① ガイダンス・授業内容の説明と予定 保育内容総論とは何か		時間数 2	⑥ 領域と保育内容 5領域から保育内容～演習ワークから子ども理解を深める		時間数 2
② 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型こども園教育・保育容量がひもとく保育内容とは何か考える		2	⑦ 保育者の役割と保育内容 (1) 気になる子どもの支援～事例から保育者の役割を考える		2
③ 子どもと保育内容 (1) 子ども理解～演習ワークから考える		2	⑧ 保育者の役割と保育内容 (2) 保護者との連携～事例から保育者の役割を考える		2
④ 子どもと保育内容 (2) 子どもの発達と生活～演習ワークから考える		2	⑨ 保育者の役割と保育内容 (3) 幼保小の連携～事例から考える		2
⑤ 子どもと保育内容 (3) こどもを取り巻く環境～演習ワークから考える		2	⑩ まとめ～今後の保育の課題		2
その他			関連科目		
講義形式だが、授業内におけるグループ討議には積極的に参加をしてほしい。また、子育て家庭に関するニュースや報道に関する事柄に関心を寄せておくこと。			保育内容 (健康) (人間関係) (表現) (環境) (言葉)		

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2024 年度
時間数は45分換算					科目コード	H-S25
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
児童文化S			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必須	20	1	実務経験のある教員	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
パネルシアターの意義や目的など専門的な知識を習得し、子どもの年齢や環境に応じてパネルシアターの選定ができる。 グループ活動でパネルシアターを作成し発表することができる。						
授 業 の 概 要						
児童文化財であるパネルシアターの演じ方、基礎的な技能について習得しグループでパネルシアターをクラス内で発表する。						
成 績 評 価 の 方 法						
グループワークでの発言、積極性、協調性などの授業態度や課題、パネルシアターの完成度、発表内容を総合評価したうえで決定する。					期末試験	%
					課 題	60%
					学習意欲	40%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
・児童文化（近畿大学九州短期大学発刊） ・必要な資料をプリント						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1	児童文化ふりかえり		1	6	オリジナル制作Ⅱ	
				6-1	修正 練習	
2	児童文化財にふれよう		2	6-2	発表	
	2-1 実演、発表			7	グループ制作Ⅱ	
3	オリジナルパネルシアター制作		3	7-1	制作	
				7-2	練習	
4	オリジナル制作発表		1	7-3	発表	
				7-4	ふりかえり、評価、まとめ	
5	折り紙制作		1			
6	伝承遊び		1	8	まとめ	
その他			関連科目			
・制作セット（のり、はさみ、テープ、ペン他） 絵の具一式、画用紙、色画用紙、パネル布、 Pペーパー・パネルシアターの舞台（大・小） ※実務経験のある教員が担当する科目である			・児童文化			